

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例

	事業名	実施機関名	
①	IoT・AI・ロボット導入支援事業	(公財) 新産業創造研究機構	発表
②	IoT 技術による生産管理マネジメント支援事業	(一社) 神戸市機械金属工業会	
③	IoT 次世代ものづくり企業活性化支援事業	(公財) ひょうご産業活性化センター	発表
④	AI 等活用促進事業	(公財) 計算科学振興財団	
⑤	先端科学技術基盤高度技術者育成事業	兵庫県立大学	
⑥	航空機分野参入促進事業	(公財) 新産業創造研究機構	発表
⑦	ロボット実用化・普及促進事業	(公財) 新産業創造研究機構	
⑧	水素等次世代エネルギー・環境分野参入促進事業	(公財) 新産業創造研究機構	
⑨	水素等次世代エネルギー・環境分野参入促進事業	(公財) 新産業創造研究機構	発表
⑩	神戸医療産業都市人材エコシステム構築事業	(公財) 神戸医療産業都市推進機構	発表
⑪	統合的ヘルスケアデータベース構築人材育成事業	理化学研究所 (健康 “生き生き” 羅針盤リサーチコンプレックス)	

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ①

事業名	IoT・AI・ロボット導入支援事業
実施機関名	(公財) 新産業創造研究機構

1 事業の概況

県内の事業者が、自社生産プロセスへの IoT・AI・ロボットの導入等によるものづくりの高度化、スマート化、生産性向上等を図る、あるいは、IoT・AI・ロボット製品（機器、サービス）、又は IoT・AI 搭載製品（機器、サービス）の開発、商品化や中小ものづくり企業への導入促進または販売促進を図る際に要する費用を支援するとともに、事業者の相談に応じ、技術支援を行う。

H30 年度 実績	支給決定	雇用予定人数	対象事業費
	20 社	39 名	0.5 億円

2 個別の取組事例

① カワノ株式会社（神戸市）：ロボット導入

3次元画像処理によるロボットの動作指令値作成を実現することで、婦人靴製造の接着剤塗布工程にロボットを入れ、職場環境改善と労働生産性向上を両立させ、海外企業に対する競争力を増す。本ソフトウェア開発を事業費 5,570 千円で行い、12 人の雇用を目指す。

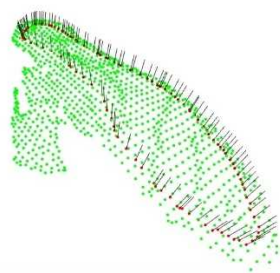
<ポイント>

ロボットによる接着剤塗布作業自動化を実現するため、以下の特徴を持ったソフトウェア開発を行った。

- ・接着剤塗布対象の靴の上部構造（アッパー）の裏側の 3次元形状を 3次元ビジョンで取得し、塗布すべき輪郭線の 3次元情報を獲得する。
- ・接着材塗布をローラ式塗布機で行うこととし、アッパーを保持して動かすロボットの動作指令値を輪郭線の 3次元情報から作成する。
- ・靴の左右反対、サイズ展開は、中心サイズの靴の片側のデータより演算する。

<今後の展開>

婦人靴の多様なデザイン（形状、および、材質）への展開や、他の工程（バフ掛け等）への展開を行い、さらなる競争力強化を目指す。



取得した靴の上部構造の裏側の 3次元形状



ロボットによる接着剤塗布の状況

② 太陽刷子株式会社（神戸市）：I o T導入

歯ブラシ製品の包装工程でボトルネックとなっているブリスターラインを構成する4台のPLCのデータをI o Tツールで採取して、日々の生産出来高・サイクルタイムを見える化し、約10%の生産性向上を達成した。

<ポイント>

- ・市販I o TツールでPLCからデータ収集し、Excelファイルに蓄積。Excelの描画機能でグラフ化し、現場に生産状況をリアルタイムで表示
- ・生産の見える化で作業者の意識が向上。
- ・本件を通じてI o T導入手法をマスター。他設備に水平展開を予定。

<今後の展開>

- ・採取したデータの解析を行い、ボトルネックを抽出して更なる出来高向上を図る。
- ・本件をモデルラインとし、会社全体へ水平展開する。



生産状況の見える化の一例

③ 株式会社キャメル（豊岡市）：AI製品開発

AIチャットボット「Edia」にコンテンツ作成機能とレポート機能を追加することで、大幅にシステム開発の生産性が向上した。

<ポイント>

- ・従来、システムエンジニアが行っていたFAQシナリオ制作が、AIについて詳しくない一般社員やクライアントでも可能になった。
- ・開発した機能の活用によりAIコンシェルジュ「TripEdia」（旅館・ホテル向けAIチャットボット製品）の商品化。

<今後の展開>

- ・本事業による機能追加で開発効率が向上したAI「Edia」の適用を拡大する。
- ・メンテナンス・カスタマイズ対応の更なる効率化を実現する製品改革。



管理画面（レポート機能）の例

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ②

事業名	IoT 技術による生産管理マネジメント支援事業
実施機関名	(一社) 神戸市機械金属工業会
<p>1 事業の概要</p> <p>企業コンソーシアムを形成して IoT 技術の導入による生産管理やサプライチェーンの高度化を目指す航空機、ロボット製造関連企業（神戸航空機クラスター（神戸市機械金属工業会の 19 社が参加））を対象に、試作開発支援等を通じた品質管理・向上への支援や、IoT 技術を活用した「つながる工場（複数企業の工場間で生産管理データを共有・相互活用し生産性や競争力を向上）」の実証実験等への支援を行い、関連企業の新規参入や事業拡大を促進し雇用創出を図る。</p> <p>2 取り組みの事例（IoT 技術を用いた「つながる工場」の実証実験）</p> <p>神戸航空機クラスターの会員企業の工場間で生産管理データを共有・相互活用する「つながる工場」の実現を目指し、様々な取り組みを行った。</p> <p>【具体的な取り組み内容】</p> <p>① 工場の設備（工作機械のメーカーは様々）からの出力フォーマットを揃え、回転数・温度などの情報取得できるようにするとともに、各社が情報共有できる LAN 仕様の実証実験を行う。</p> <p>（方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工作機械のメーカーが違くと設備の各種情報を取得できない場合があるので、出力フォーマットを揃えるため、ファナック社のソフトウェア「MT-Link i」を用いた。各社と情報共有できる MTConnect、OPC-UA の 2 つの通信仕様に対応した LAN 機器「M2M コントローラー」を導入することにより、「つながる工場」を実現するための実証実験を行った。 <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAN 会員企業が導入している工作機械メーカーは様々であり、今回「MT-Link i」及び「M2M コントローラー」を導入することにより、設備に付随する時系列の多点データ情報が収集できるようになり、その情報を企業間で共有することにより、生産の効率化・競争力向上につながる。 <p>② QR コードを使った受注案件の工程進捗情報の共有を進める。</p> <p>（方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事社が受注し、KAN 会員企業の数社で加工を行い、発注元の顧客に納入する加工案件に関して、加工作業の着手・不具合発生・完了等の情報を、QR コードを使用した軽易な入力で行うシステムを開発することにより、「つながる工場」の実現に資する。 <p>（効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同受注案件に関し、関わった企業間において、案件の進捗状況を共有することができ、生産管理の強化、生産性の向上、KAN での一貫生産体制の構築に大きく貢献 	

できる。



「国際航空宇宙展 2018 東京」に出展し、
KAN ブースで実演を行った。

2018. 11. 28～30

東京ビッグサイト

③ 映像データにディープラーニング技術を活用し、人の設備の稼働状況を同時に数値化・可視化

(方法)

- ・実証実験を行う KAN3 社（株オオナガ、株ジェイテック、山城機工株）の工作機械のパトライト等の配線からセンサで設備の稼働実績を取得する。工場に設置したカメラの映像データから自動で人の判定を行うことで、工作機械ごとの作業者の動きを確認する。

(効果)

- ・リアルタイムアクション
設備が停止・異常状態で放置されているときに、作業者に警報を出すことで、設備を早期に復旧することができる。
- ・人起因の設備停止状態の可視化
実績レポートと映像データを分析することで、停止に陥った原因を把握することができ、改善する手助けとなる。
- ・映像エビデンス
集計レポートから作業者毎の生産性を可視化し、その要因について映像データを確認することで、相応しい作業を抽出し、作業標準化を図ることができる。
また、作業者の意識が高まり、作業効率が上がる。



可視化の実証実験の様子

(株オオナガの工場)

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ③

事業名	IoT 次世代ものづくり企業活性化支援事業
実施機関名	(公財) ひょうご産業活性化センター

1 事業の概況

当センターが実施する商談会・交流会等により、航空・宇宙、環境・エネルギー等の次世代産業や県内産業基盤を支える「ものづくり中小企業」と、県内外の「IT 企業・ベンチャー企業・次世代産業発注企業等」を広くマッチングすることで、県内ものづくり中小企業の IoT 等導入を支援し、事業活動の活性化を図る。

H30 年度 実績	マッチング支援企業数 (アウトプット)			雇用創出数
	セミナー・マッチング 交流会 (7/26)	IT・IoT 企業に よる展示商談会 (12/13)	個別マッチング (8 月～1 月)	
	37 社	16 社	4 社	
合計：57 社				

※平成 31 年 1 月 31 日現在

2 個別の取組事例 (マッチングの成功例)

(1) A 社 【新卒採用】

航空・宇宙分野大手メーカーからのロケット部品の受注獲得を契機に、新生産管理システムと IT・IoT・ロボット等の連動を検討するなど、効果的な生産体制を整えるため、新たに正規社員を雇用。

(2) B 社 【中途採用】

エネルギー分野大手メーカーからの制御機器部品の受注を獲得するなど、取引先を拡大中。IoT 等個別マッチングによって、販路開拓に活用する企業 PR 動画 (スマートフォン用) を作成。さらに、今後は生産設備の見える化の検討に取り組むため、新たに正規社員を雇用。

(3) C 社 【中途採用】

安価な汎用パッケージのカスタマイズによって多品種 3,000 点数/日以上 of 板金プレス加工工程を管理化するための IoT 工程管理システムや、IC チップやタグを活用した独自 IoT 部品追跡管理システムの構築を検討中。担当する正規社員を雇用。

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ④

事業名	AI 等活用促進事業
実施機関名	公益財団法人計算科学振興財団 (FOCUS)
<p>1 事業内容</p> <p>AI や IoT の技術を習得できる講習会や事業専用計算機の無償提供を行い、AI 等を活用できる人材の育成や企業への AI 等の導入・活用検討の支援を行う。</p> <p>(1) 企業ニーズ把握・技術支援 コーディネータや技術支援員を配置し、企業のニーズ把握や技術コンサルティング等の実施</p> <p>(2) 技術者育成支援 AI 初学者向けの短期集中実践型の講座やニーズに応じた AI 等の関連講習会の開催</p> <p>(3) 事業専用計算機の提供 講習会で習得した技術を応用できるよう事業専用計算機を無償提供</p> <p>2 平成 30 年度の取組事例</p> <p>計算科学振興財団が当該事業で実施した AI/機械学習関連講習会は人気を集め、年度内 100 名強の参加者（アウトプット）を見込む。</p> <p>また、2018 年 12 月末に実施した 2 日間の短期集中講座では、16 名の参加者があった。この講座の参加者であった A 社からは来年度の社内向け講習としての開催（参加者は 100 名程度の予定）を打診され、FOCUS としてこれを内諾済みである。また別企業の B 社では、今年度 AI に関する専門の研究開発部署を立ち上げ、来年度も当該講座の受講を希望しており、新たな雇用創出を目指す。</p> <p>参加募集促進に関しては、計算科学振興財団で開設中のホームページ、メルマガの活用や個別企業等への案内に加え、兵庫県下の各ハローワークでのチラシの設置により、就業希望者への周知や、新聞紙面での記事掲載（11 月、12 月）を行った。</p> <p><参考：短期集中講座></p> <p>「キャリア開発のための AI/機械学習～リテラシーの習得から課題への適用まで～」</p> <p>○日 時：平成 30 年 12 月 21 日(金)～22 日 (土)</p> <p>○カリキュラム：21 日 【講義】 (午前)AI と機械学習、(午後)機械学習概説 【実習】 Python+scikit-learn を利用した手書き文字画像分析</p> <p>22 日 【講義】 (午前)Deep Learning 基礎、(午後)実課題への機械学習の適用 【実習】 機械学習による手形状判別</p> <p>○参加者：16 人</p> <p><今後の展開></p> <p>当該講座は引き続き次年度以降も開催し、企業毎のニーズに応じてカスタマイズした個別開催も積極的に展開していく。</p>	



平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑤

事業名	先端科学技術基盤高度技術者育成事業
実施機関名	兵庫県立大学
<p>1 事業目的</p> <p>兵庫県が誇る最先端科学技術基盤（SPring-8、スパコン「京」）の立地メリットを生かし、今後、産業界の潮流となるデータ駆動科学を活用した新技術・材料開発を促進するため、企業が求める放射光・スパコンを相互利用できる高度技術者を育成する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>①産業界に精通したコーディネーターを配置し、SPring-8 兵庫県ビームラインとニュースパルのワンストップ窓口とするとともに、放射光とスパコンの相互利用を検討する県内企業等に対し技術相談、研究開発計画立案等の支援を行う。</p> <p>②今後、産業界の潮流となるデータ駆動科学の学習を支援するため、放射光データの解析に主眼を置き、より実践的な計算技術の修得を目指す連続講座等を企画・実施することで、放射光・スパコンを相互利用できる高度技術者を育成する。</p> <p>3 平成 30 年度の取組</p> <p>(1) 講演会の開催</p> <p>第 7 回放射光産業利用支援講座「これからの学術と産業を支える先端技術 シミュレーション予測・放射光・データ駆動科学」</p> <p>○日 時：平成 30 年 7 月 26 日（木）13:00～17:00</p> <p>○場 所：イーグレひめじ 4 階セミナー室 A</p> <p>○参加者数：46 人</p> <p>(2) 連続講座の開催</p> <p>第 1 回計算科学マスター連続講座「データ駆動科学 基礎編」</p> <p>○日 時：平成 30 年 11 月 9 日（金）・16 日（金）・30 日（金） 12 月 14 日（金）[全 8 講座]</p> <p>○場 所：兵庫県立大学産学連携・研究推進機構会議室</p> <p>○参加者数：のべ 160 人 [全 8 講座]</p> <p>《参加者の声》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ駆動科学の重要性を認識しつつも手掛かりがなく困っていたところ、極めてタイムリーな企画であり大変ありがたい。 ・高度な内容を分かりやすく説明いただき、スキルアップにつながる実習だった。 等 	



平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑥

事業名	航空機分野参入促進事業
実施機関名	公益財団法人 新産業創造研究機構

1 事業の概況

認証取得支援、試作・開発支援及び人材育成支援の各補助金支給や、専門家の派遣によるレベルアップ、展示会出展等によるマーケティング支援により、航空機分野参入の支援を行っている。

H30 年度 実績	採択事業者	雇用予定人数	補助予定金額
	15 社 (18 件)	66 名 (H31.3 末)	7,576 千円

2 個別の取組事例

株式会社稲坂歯車製作所 (加東市)

<目標>

高性能バイク用歯車製造で培った高精度歯車製造技術を活かし航空機用歯車の受託製造に進出する。

<ポイント>

航空機歯車生産に必要な JIS Q9100 を初めとした各種認証の取得、生産体制の整備、製造技術の向上、等々を新産業創造研究機構の下記支援の下で受注活動を行っている。

- ア) 航空用品質管理規格 JISQ9100 の認定取得の補助金による支援 (H29 年度戦略プロジェクトにて)
- イ) 非破壊検査員養成 (トレン MT 部門) を含む人材育成の補助金による支援
- ウ) 特殊工程 (加工表面金属検査) の専門家派遣による指導支援
- エ) その他、川下企業訪問支援、企業間連携成長促進事業実施支援、航空機分野展示会出展支援

<成果>

川下企業から航空機用歯車試作検査を含むサプライヤー評価に移行した。近々の受注を期待。

<今後の展開>

4 年後の航空機歯車一貫生産 (完成品受注) を目指し、それ迄の間に工程外注を受けながら特殊工程の認証取得に向けた実施体制強化と人材育成を図って行く。



航空機分野展示会 (共同出展)

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑦

事業名	ロボット実用化・普及促進事業
実施機関名	公益財団法人 新産業創造研究機構

1 事業概要

ロボットの開発・導入により、ロボットの実用化・普及促進を目指す企業を対象にロボット・ロボットシステムやロボット周辺機器等の開発に係る費用を支援する。

H30 年度実績	採択事業者	雇用予定人数*	補助予定金額
	3 社	21 名 (H31.3 末)	4,500 千円

※雇用予定人数には、技術アドバイスの支援を行った企業での雇用を含む。

2 個別の取組事例

東洋電機株式会社 (神戸市)

プリント板への電子部品挿入(実装)作業にロボットを導入するために、カメラビジョンシステムのFSに補助金を利用。

ロボットを導入し自動化促進で、新たに1名の雇用創出を目指す。

<ポイント>

製造工程自動化の推進のため、全てのシステムアップを自社開発する。

FS実施内容

- カメラビジョンシステムの機種選定。
- 適用 (プリント板への電子部品挿入作業) にマッチしたロボットハンドの試作。
- カメラビジョンシステムを使ったロボットによる電子部品挿入作業の検証実施。



<今後の展開>

- ・6名の作業者が従事している電子部品挿入作業をロボットに順次置き換る。
- ・FSにて得た画像処理技術を検査工程の自動化に展開。
- ・今回のFSにて、社内の自動化取組み活動に拍車が掛かり、他工程への自動化推進を社員一同で取り組んで行く。

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑧

事業名	水素等次世代エネルギー・環境分野参入促進事業
実施機関名	公益財団法人 新産業創造研究機構

1 事業の概況

安定的かつ良質な雇用を創造していくため、地域の産業政策と一体となった地域の自主的な雇用創造の取組を支援し、労働者の職業安定に資することを目的とし、水素等次世代エネルギー関連製品等の開発・試作ならびに研修・派遣に要する費用を支援する。

H30 年度 実績	採択事業者	雇用予定人数	補助予定金額
	10 社 (13 件)	21 名 (H31.3 末)	15,192 千円

2 個別の取組事例

(株) 山本電機製作所

超伝導線を利用した高精度・高応答の液体水素用レベル計を開発している。

<ポイント>

岩谷産業(株)、物質材料研究機構、神戸大学の協力のもと産学連携で開発に取り組んでいる。

- ・「水素等次世代エネルギー産業分野参入促進事業」を利用し、物質材料研究機構及び神戸大学の技術指導を受け、他に例のない液化水素用超伝導式レベル計を試作した。
- ・使用先となる岩谷産業(株)にて実際にレベル計として運用試験を行う。

<今後の展開>

試作した超伝導線材を使用して神戸大学の実験設備にて液体水素レベル計試験を行い、その成果を用いて完成させた試作機 1 号機を、岩谷産業(株)の液体水素タンク設備に取り付け、実運用試験を行う予定である。



液体水素レベル計試験設備



試験用レベル計

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑨

事業名	水素等次世代エネルギー・環境分野参入促進事業
実施機関名	公益財団法人 新産業創造研究機構

1 事業の概況

安定的かつ良質な雇用を創造していくため、地域の産業政策と一体となった地域の自主的な雇用創造の取組を支援し、労働者の職業安定に資することを目的とし、水素等次世代エネルギー関連製品等の開発・試作に要する費用を支援する。

H30 年度実績	採択事業者	雇用予定人数	補助予定金額
	10 社 (13 件)	21 名 (H31.3 末)	15,192 千円

2 個別の取組事例

エスアールエンジニアリング株式会社（本社；神戸市西区）

平成 29 年から、水素ガスのモビリティ用途など産業用ガスの高圧ガス使用環境で安心・安全を図るために必須となる、使用機器の気密試験を行う超高压ブースタ（増圧機）の試作開発に取り組んできた。

この試作開発段階で得られた高圧ガスシール部品の耐久性能向上など、技術的課題の解決を目指し、平成 30 年度から本開発支援補助制度を利用し、開発製品「125 MPa エア駆動水素ガスブースタ」の実用化の目処を付けることができた。

<ポイント>

100MPa 近くに達する高圧ガス製品の開発は、燃料電池車や水素ステーション等の水素社会実現の牽引役となる取組である。水素関連の各種高圧設備については高圧での保安検査が必要であり、本開発品である超高压ブースタ（増圧機）が気密試験等で求められている。

<今後の展開>

経済産業省の水素基本戦略では、2025 年までに燃料電池車が 20 万台、水素ステーションが 320ヶ所を目指している。試作開発後はユーザーにて評価していただき、実用化を図る。受注拡大と水素関連技術者の雇用創出・人材育成を目指している。





実用化商品；125MPa
エア駆動水素ガスブースタ



ブースタ用シール（開発品）

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑩

事業名	神戸医療産業都市人材エコシステム構築事業
実施機関名	公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構
<p>1. 目的</p> <p>神戸医療産業都市を世界的なクラスターとして発展させるため、神戸医療産業都市外からの人材流入の促進と神戸医療産業都市内での人材育成および交流促進を通じ、優秀な人材が流動するエコシステムを構築する。</p> <p>2. 目標</p> <p>3か年（2018～2020年度）で計40名の新規雇用を創出</p> <p>3. 今年度実施事業</p> <p>(1) 求職者（新卒学生）向けイベントの開催</p> <p>名 称：リクナビ2020 特別プログラム 「神戸医療産業都市 参画企業 先輩社員交流&ラボ見学会」</p> <p>日 時：2019年2月25日（月）11：00～19：30</p> <p>会 場：理化学研究所融合連携イノベーション推進棟（IIB）ほか</p> <p>参加者：2020年3月卒業予定学生 49名（申込約200名）</p> <p>内 容：・神戸医療産業都市の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演① 神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センター長 川真田 伸 ・講演② 榎本薬品株式会社 代表取締役社長 榎本真宏（小児科医） ・各社ラボ見学（シスメックス・千寿製薬・細胞療法研究開発センター） ・懇親会（先輩社員への質問） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 求職者（新卒・中途）向けWEBサイトの公開</p> <p>内容：共同研究や共同開発事例、クラスター交流会、合同研修等、企業・団体間の連携・交流による取組みを紹介することで、神戸医療産業都市（クラスター）で働く魅力を発信。進出企業・団体の採用情報の掲載も予定。</p> <p>時期：2019年3月下旬公開予定</p> <p>4. 来年度以降実施事業（検討中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒学生向けイベントの実施 ・中途採用者向けイベントの実施や求人情報の発信 等 	

平成 30 年度ひょうご次世代産業高度化プロジェクト取組事例 ⑪

事業名	統合的ヘルスケアデータベース構築人材育成事業
実施機関名	理化学研究所（健康“生き生き”羅針盤リサーチコンプレックス）
<p>1 事業内容</p> <p>ヘルスケア分野において、利用者のニーズに合ったデータベース構築やデータ利活用を企画する高度専門人材育成の支援を行う。</p> <p>2 平成 30 年取組み事例</p> <p>ヘルスケア分野での高度専門人材の育成を通じて、地域における生産性の向上及び経済的基盤の強化を図るため、講座を開講し、受講者の中から 4 名の雇用創出に成功した。</p> <p>① 健康生活コンシェルジュ育成講座</p> <p>個人や企業等に対し、健康科学の専門的な知識を有し、個別に適切なコンシェルジュ機能的な指導が行える人材の育成講座（e-ラーニングと実技実習）を開講し 24 名が参加した。</p> <p>② 健康事業開発コンシェルジュ育成講座</p> <p>ヘルスケア分野の知識をもち、ヘルスケアの事業開発や新規参入を行う企業等に対して先導的な役割を担う専門人材の育成講座を実施した。今後はその人材が活躍できる人材バンクのシステム構築を進める。</p> <p>③ 計算科学シミュレーション人材育成</p> <p>ヘルスケア分野で必要な計算科学シミュレーション人材育成講座を 11 回開講し、200 名以上が受講した。</p>	
	